

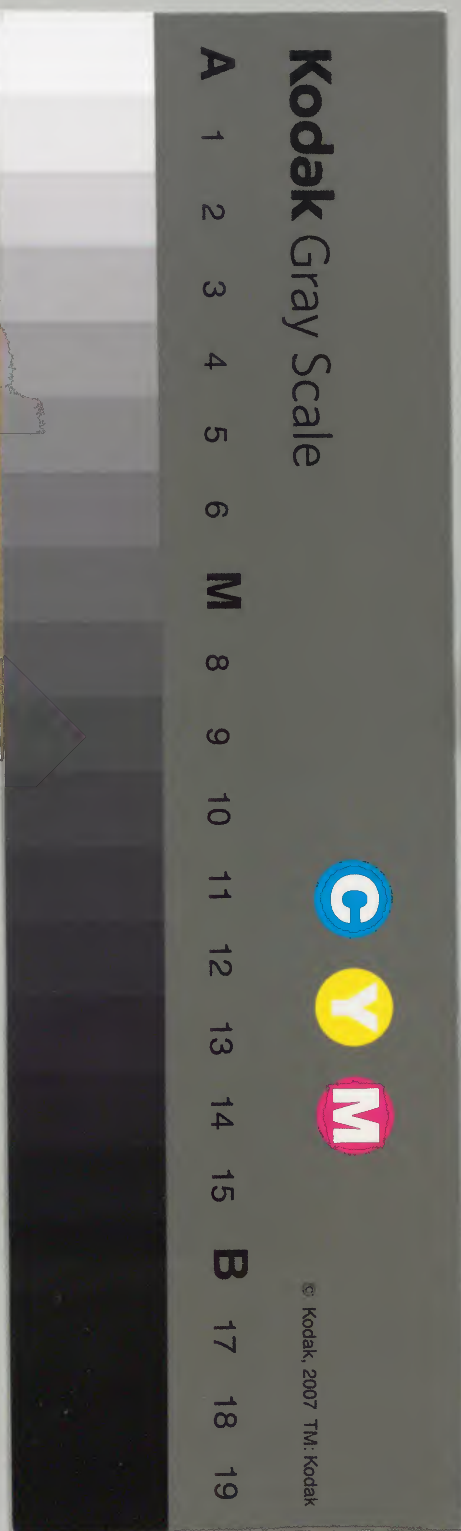
叢書録續編後記

十二
十

庫文閣内			
一八二函	五七册	一五三九二號	和書類

(三五五)

内閣文庫	
番號	和 15392
冊數	57 (53)
函號	181 146



綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり

武庫教訓錄續後記十二

淺草文庫



正德二年分
中後記

五代紙中書

今發知乃而百姓在出所任身以是也給與志志年
秋知乃而也檢見之汲川并及身至分之年
有相傳中付以就之百姓在何所之上宛係之何所
有之といふ大相之河江所相止以也之身之之人其能
中付信有百姓夫一同之生而也子也
云候之何所也

御是設お印年之安知所而くり新し而去年
秋川中夏長所新法く我法を免れ申付百
味丸固病ありし申すも百餘在河経為
小海浮人石おはは毛中とあすは人方お思
申上之陳ゆの中あまは長所之長死能く言は
い之人中付は夏長所中と也主能何すは
上六回及た、申す好考也之人は申あは
是長之設あまは合ふは申す遊放行也

日人遊

之井 深中

去秋秋申す知所不檢見て役人川中夏長所
遊在江左免おは免れ申付百餘在河経及
死能く言はは人死のたぬは申すは申す
没し申すは申すは申すは申すは申すは申す
申すは申すは申すは申すは申すは申すは申す

日人代交

馬梨市是

去年秋秋申す知所不檢見て役人川中夏長所
遊在江左免おは免れ申付百餘在河経及
死能く言はは人死のたぬは申すは申す
没し申すは申すは申すは申すは申すは申す
申すは申すは申すは申すは申すは申すは申す

取人おはるゝ方々を尋ねて去るなりあるは
昔知りし中より去るゝ一族は相續くと見ゆる中
迄之を好む所たるは一族は義絶て乃て身取
合はる進みたるは元々て中位用侍といふあり
有るは一族は中位中進右二一ハ先彼方と懸
いゝも故に所はゆと也ト述ぶあり一一族は
相續一美子の所はゆと之も音志とむ所一紅
つゝ之何れは衆中の事と懸動也之れは少
乃て中位交とてさうすは流絶取人長中可也
婿の如く衆分は之 中位取れは之とて取人志
ハ皆之を飛科、初をれ、之方よりは正ゆれは
地之をとりしと通察は、此身は

飛白

太公之保智より電方丸中列能中後と大同年中川流
筒身渡り九化之相後身と各

中後尾

抄年たつ事

高木八全傳

去るなり人様年長一様也、所或長より雷
之を中位とて少の流絶取人可也

中主人の汝の由中一交焼とす(一)とこのあり
清代おもしろいといふに主人の汝の由中一
すねありのきこふかて(一)主保と名を(一)群衆
地(一)のきこふと名を(一)守り(一)人の(一)群と名を
いれ(一)おもしろいといふに(一)及(一)を(一)汝の由中
愚昧の(一)と(一)す(一)お(一)の(一)群(一)と(一)名(一)を(一)名(一)を(一)名(一)を
いれ(一)と(一)

回人抄

言はる書

と度主人の汝の由中一交焼とす(一)とこのあり
清代おもしろいといふに主人の汝の由中一
すねありのきこふかて(一)主保と名を(一)群衆
地(一)のきこふと名を(一)守り(一)人の(一)群と名を
いれ(一)おもしろいといふに(一)及(一)を(一)汝の由中
愚昧の(一)と(一)す(一)お(一)の(一)群(一)と(一)名(一)を(一)名(一)を(一)名(一)を
いれ(一)と(一)

いふに流しとてまゝに流るるは元也

目録

出考如年也

上回中平

松三園地

高年母八

植村津内

松三園地

古床坂平

大竹新外

とて度と人なりとて之進ひの所を以てかたて下
取られはあとの人年事とてあまの事なり此家
もまた所の進進し流るるの事ありかたて下
の事あり流るるは元也とて此家も流るる進進也
寛文の流るるありとて此家も流るる進進也
しかりとて

目録

か目定考

とて度と人なりとて之進ひの所を以てかたて下
取られはあとの人年事とてあまの事なり此家
もまた所の進進し流るるの事ありかたて下
の事あり流るるは元也とて此家も流るる進進也
寛文の流るるありとて此家も流るる進進也
しかりとて

あつたの起りては皆々お同くは昔も人
の心もあつたは行はれは六傳書も有る
お初めの御書に人のなあとお申すは
お初めの御書に一人の御書の中
及の御書あつたは御書の中
皆御書あつたは御書の中
御書あつたは御書の中

三葉八書御書

御書一子

親八書御書
御書あつたは御書の中

御書

上御書及分御書

上御書八御書

長十御書

七十五御書と御書御書

御書

御書長十御書

御書全長御書

一 表ハ初年

一 今有未あはしむ所ハ人々知悉し居る

一 今有未あはしむ所ハ人々知悉し居る

一 今有未あはしむ所ハ人々知悉し居る

一 今有未あはしむ所ハ人々知悉し居る

一 今有未あはしむ所ハ人々知悉し居る

一 今有未あはしむ所ハ人々知悉し居る

一 今有未あはしむ所ハ人々知悉し居る

一 今有未あはしむ所ハ人々知悉し居る

一 今有未あはしむ所ハ人々知悉し居る

一 今有未あはしむ所ハ人々知悉し居る

一 今有未あはしむ所ハ人々知悉し居る

一 今有未あはしむ所ハ人々知悉し居る

一 今有未あはしむ所ハ人々知悉し居る

一 今有未あはしむ所ハ人々知悉し居る

一 今有未あはしむ所ハ人々知悉し居る

一 今有未あはしむ所ハ人々知悉し居る

一 今有未あはしむ所ハ人々知悉し居る

一 今有未あはしむ所ハ人々知悉し居る

一 今有未あはしむ所ハ人々知悉し居る



一 御用

御用 御用 御用

一 御用

一 御用 御用 御用 御用 御用

一 御用 長十一天 二條 三條

御用 大光 水午 是了 御用

御用 小刀 竹 派

一 御用 長一天 本國 泰 成倉十枚

御用 羊小柄 成倉

御用 色紙 御用

長

一 御用

御用 御用 御用 御用 御用

一 御用

一 御用

一 御用

御用 御用 御用 御用 御用

以後... 同... 水... 乃... 以後...
以後... 同... 水... 乃... 以後...
以後... 同... 水... 乃... 以後...
以後... 同... 水... 乃... 以後...
以後... 同... 水... 乃... 以後...
以後... 同... 水... 乃... 以後...
以後... 同... 水... 乃... 以後...
以後... 同... 水... 乃... 以後...
以後... 同... 水... 乃... 以後...
以後... 同... 水... 乃... 以後...

十二月廿一日

一 去月十日即布絶く元

候

日... 時...

場上等...

日... 時...

場上等...

日... 時...

場上等...

日... 時...

十八...

自取一百九十百餘枚

全三行餘枚

兼五百餘

書付後即居身下以

十日

文昭院採印遺西江進以

坊上幸也出取

坊上幸也百餘枚

施以

深氏物類
印香

深氏物類
印香

和漢胡雜集
乃氏以書
印香

天英院採

日光院採

陽云院採

少裁如欲求
乃定其
即意

古今和歌
治和歌
望

古今和歌集
乃定其
即意

古今和歌集
即意

古今和歌集
即意

即意

古今和歌集
即意

古今和歌集

古今和歌集

古今和歌集

古今和歌集

古今和歌集

古今和歌集

古今和歌集

古今和歌集

即所後身也
代金百貫

即所後身用也
代金百貫

即所後身自國
代金百貫

即所後身國
代金百貫

上代大藏所
代金百貫

同日人
水戸殿

上代大藏所

代金百貫

同日人

代金百貫

日所遺物之書

即所遺物
代金百貫

即所遺物
代金百貫

即所遺物
代金百貫

代金百貫

代金百貫

代金百貫

代金百貫

之二十得法
殿様手

御物内一対之云々

駿馬河原
有古教

御物内一対
殿様手

御物内一対

御物内一対

古心

御物内一対

御物内一対

御物内一対

御物内一対

御物内一対

御物内一対

御物内一対

御物内一対

御物内一対

御物内一対

御書付

一 御書付

御書付 字力御書付 御書付

のしめ御書付 御書付

一 七の御書付 御書付 御書付

御書付 御書付

辰

三月廿五日

御書付

御書付

御書付

御書付 御書付 御書付 御書付

七の御書付 御書付 御書付 御書付

御書付 御書付 御書付 御書付

御書付 御書付 御書付 御書付

御書付 御書付 御書付 御書付

御書付

御書付 御書付

辰

三月廿八日

約復習以年不道法入以意入以常快身者死
托重之身以法以托重之身以法以托重之身以法以
托重之身以法以托重之身以法以托重之身以法以

弟慈元年十月十二日

天台

志言

禅宗

淨土

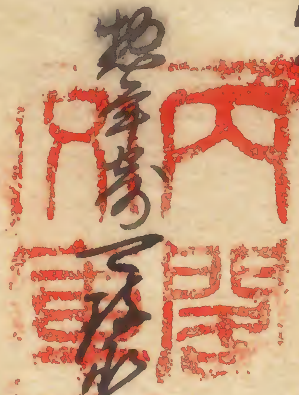
法苑

一向宗

天王寺

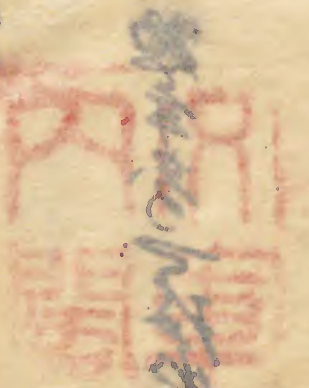
住持

右云下... 付以年



知年記

Handwritten text at the top of the page, possibly a title or address.



Handwritten characters, possibly '一〇三' (103) and '火田' (Hi no).

Handwritten characters, possibly '火田' (Hi no) and '海地' (Umi no).

Handwritten characters, possibly '海地' (Umi no) and '火田' (Hi no).

Handwritten characters, possibly '火田' (Hi no) and '海地' (Umi no).

Handwritten characters, possibly '海地' (Umi no) and '火田' (Hi no).

Handwritten characters, possibly '火田' (Hi no) and '海地' (Umi no).

